



編集者 福島市中町5番21号
 福島県消防会館内
 公益財団法人 福島県消防協会
 電話(福島) (522) 5974
 印刷人 福島市南矢野目字萩ノ目裏1-1
 村山 広一
 電話(福島) (553) 4600

第76回日本消防協会定例表彰式

特別表彰「まとい」は鏡石町消防団



第76回日本消防協会定例表彰式は、令和6年3月8日(金)にニッショーホールにおいて開催されました。本年度は、全国で10本という消防

団の最高栄誉である特別表彰「まとい」を鏡石町消防団が受賞しました。開会式の後、国歌斉唱、消防殉職者に対する黙とうが行われ、各種表彰が授与されました。表彰されたのは、特別表彰「まとい」10団、特別功労章10名、表彰旗35団、竿頭綬90団、功績章893名、精績章

2146名、勤続章9659名、婦人消防隊表彰旗6隊、婦人消防隊員功績章7名、永年勤続職員9名で、本県関係の受賞者等は次のとおりです。
 ●特別表彰「まとい」
 鏡石町消防団
 ●表彰旗
 会津若松市消防団
 ●竿頭綬
 大玉村消防団
 鮫川村消防団
 北塩原村消防団
 ●功績章
 32名
 ●精績章
 79名
 ●勤続章
 318名

また、表彰式終了後、講演会が開催され、「能登半島地震とコミュニティの役割」と題して、神戸大学名誉教授の室崎益輝氏から能登半島地震の概況や消防団の果たした役割などお話しいただきました。

火を消して
不安を消して

つなぐ未来

令和5年度全国統一防火標語

第25回全国女性消防操法大会が開催

令和5年10月21日(土)、第25回全国女性消防操法大会が、総務省消防庁及び(公財)日本消防協会の主催で、東京都有明にある東京臨海広域防災公園において開催されました。

この大会は、女性消防隊の消防技術向上と士気の高揚を図ることを目的に、軽可搬ポンプ操法の技術を競うべく2年に一度開催されるものですが、新型コロナウイルス感染症拡大で延期となっていました。4年ぶりに開催の今年の大会は、晴天に恵まれ、女性消防隊44隊が出場し、技術を競い合いました。

今大会には、新型コロナウイルス感染症等の影響で、残念ながら本県からの出場はありませんでした。



また、前日の激励交

流会は、TFホール1000で開催され、原邦彰消防庁長官、国会議員等ご来賓、消防応援団の方々、消防関係者など約600名が参加し、意見交換等交流を深めました。鈴木淳司総務大臣からのビデオメッセージをはじめ多数ご来賓の激励メッセージをいただき、出場選手代表の決意表明も行われ、地域間の絆が深まるともに、大会での健闘を誓い合いました。



●●● 大会結果 ●●●

☆優勝

熊本県八代市本部女性消防隊

☆準優勝

東京都板橋消防団女性消防隊

愛知県刈谷市女性消防隊



福島県消防協会公式HP
<https://zfsk.or.jp>

第28回 全国女性消防団員活性化 石川大会

ようこそ 石川へ
百万石の花と咲け！
輝く女性消防団

令和5年11月16日(木)、石川県金沢市にあります「いしかわ総合スポーツセンター」において、第28回全国女性消防団員活性化石川大会が開催されました。本大会は、全国の女性消防団員が一堂に会して、日頃の活動等を紹介し、団員相互の情報交流等を通じて、女性団員の活動を活性化させることを目的に毎年開催されています。



会場では、石川県内合同消防音楽隊によるウエルカムミュージックが来場者を歓迎してくれました。開会式は、大会旗が入場、開会宣言、国歌斉唱が行われ、主催者として原邦彰消防庁長官、秋本敏文日本消防協会長と実行委員会委員長、鍋谷有介石川県消防協会会長から挨拶がありました。また、開催地の馳浩石川県知事、村山卓金沢市



長から歓迎の挨拶がありました。開会式の後には、5つの消防団が心肺蘇生の手順を覚えてもらうための簡単な体操、災害時の身の守り方や避難の仕方を知ってもらったためのダンス、幼稚園などに出席した防火防災教育や女性団員の出前講座など日頃の防災普及啓発活動を紹介しました。

●活動発表(5団体)
大阪府女性消防団
山口県山口市消防団
大分県大分市消防団
石川県小松市消防団
和歌山県和歌山市消防団
午後からは、お笑いタレントの山田邦子さんと馳知事が「女性団員を含めた女性活躍社会」をテーマに対談しました。山田さんからは、消防応援団の活動や女性消防団員への思いなど語られ、対談を通じて全国の女性消防団員に熱いエールが送られました。

その後、シンポジウムとして2つの消防団からは、使われなくなった半纏などを捨てずに、カバンや小物入れにリメイクした事例や多様化を認め合う現代社会に即した消防団のあり方の検討について、活動事例の発表がありました。



大会旗引継が行われ、次期開催地の栃木県消防協会の古山大功会長が挨拶を述べました。次回大会は、令和6年9月19日(木)、栃木県宇都宮市で開催

●活動事例発表(2団体)
秋田県大仙市消防団
東京都赤羽消防団
続いて、「女性消防団員の現状とこれから」をテーマに、秋本会長をコーディネーターに、沖縄県消防協会久高清美会長と事例発表者をパネリストとして、パネルディスカッションが行われました。パネリストからは、女性消防団の今後の活動について日頃から考えていることなど発言がありました。閉会式では、大会宣言、お礼の言葉、

渡辺仁県危機管理部長と吉田秀一県消防協会会長は、令和5年10月10日(火)に福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、福島県中小企業団体中央会、福島県経営者協会連合会を訪れ、要請書を手渡し、消防団への入団の働きかけや消防団活動がしやすい職場環境の整備をお願いし、会員への周知を依頼しました。



されま。福島県の女性消防団の皆さん、ぜひ、ご参加ください。
本県参加団体
福島市消防団、伊達市消防団、桑折町消防団、須賀川市消防団、喜多方市消防団、南相馬市消防団、福島県消防協会

消防団入団促進
県内経済団体に協力要請
福島県と福島県消防協会は、県内経済4団体を訪問し、事業所側の消防団員確保と消防団活動に対する一層の理解と協力を求める要請活動を行いました。

消防団入団促進
県内経済団体に協力要請
福島県と福島県消防協会は、県内経済4団体を訪問し、事業所側の消防団員確保と消防団活動に対する一層の理解と協力を求める要請活動を行いました。



株式会社 ホシノ
会津若松市材木町一丁目10番22号
☎会津若松(26)5600
郡山支店
(機器協会員)

ニッキ消防ポンプ
キンパイホース
東部産業株式会社自動車部
シバウラ小型ポンプ
いわき市内郷綴町金谷15番地4
☎0246(26)5401
代表取締役 菊池一隆
(機器協会員)

消防設備総合メンテナンス
キンパイホース・消火器・避難器具
火災報知設備 スノーラップ
その他消防用品一式
防災機器の御用命は
(有)東北防災センター
代表 夏井一樹
本社 福島市入江町5-7
☎024(634)3389・2540
(機器協会員)

民間車検場 和田自動車株式会社
WADA JIDOHSHA CO.,LTD.
郡山市田村町金屋字孫右エ門平57番地
〒963-0725 TEL. 024(943)3400(代)
FAX 024(943)3873
(機器協会員)

令和5年度

消防団長等研修会



令和6年2月21日(水)・22日(木)の2日間、郡山市熱海町の「ホテル華の湯」において、令和5年度消防団長等研修

会を開催しました。初日は、県消防保安課の高橋伸英課長から「消防団の充実強化について」の講話、続いて、熊本市消防団長山口純一氏から「熊本地震から8年」と題して講演をいただきました。山口氏からは、平成28年熊本地震の概要と消防団の活動状況、熊本地震から得られた教訓など、大変参考になる話を語っていただきました。



令和6年2月21日(水)・22日(木)の2日間、郡山市熱海町の「ホテル華の湯」において、令和5年度消防団長等研修会を開催しました。初日は、県消防保安課の高橋伸英課長から「消防団の充実強化について」の講話、続いて、「報道の視点から災害を考える」アナウンサーにできること」と題し、防災士や食生活アドバイザーなどの資格を持つフリーアナウンサーの佐藤彩乃氏から講演をいただきました。佐藤氏は、ラジオやテレビでキャスターを務めた経験から、災害が予想されるとき、災害が起きたとき、命を守るためにどう呼びかけたらいいか、実践を交えてお話しいただきました。

最後に、株式会社羅羅屋常務の北良明氏から羅羅屋の防災用品を紹介していただき、2日間の研修会は終了しました。



最後に、株式会社羅羅屋常務の北良明氏から羅羅屋の防災用品を紹介していただき、2日間の研修会は終了しました。

第39回

防火ポスターコンクール

生活協同組合全日本消防人共済会では、毎年全国の小学生・中学生を対象とした防火ポスターコンクールを行っています。全日本消防人共済会で厳正な審査を行った結果、本県から推薦した会津若松市立謹教小学校6年坂本修吾さんの作品が優秀賞に入選しました。



本協会では、優秀賞に輝いた作品を本協会では、優秀賞に輝いた作品を

会津美里町消防団に消防車両を交付

(公財)日本消防協会では、消防団員等福祉共済の福祉増進事業として、防火防災学習や広報活動等に活用できる車両の交付を行っています。



この事業の防災学習・災害活動車は、平時には地域住民に対する防火防災のための広報として、災害時には地域住民の避難誘導など地域

の防災と福祉向上を目的として、消火・救助活動等の現場で活用できるものです。本県では今年度、会津美里町消防団が車両の交付を受けました。

株式会社 平成
本社 / 〒971-8122
福島県いわき市小名浜林城字塚前23-1
TEL 0246-58-0047(代)
FAX 0246-58-0080
代表取締役 鈴木庸平
●雄大な自然都市いわき
●躍動するネットワーク都市いわき
●のびのび快適生活都市いわき

(有)渡辺鉄工消防用品
田村市船引町北町通47
☎(0247)820072

安全と防災
TOAN トーアン株式会社
☎963-0215 郡山市待池台1丁目55-37 ☎024(936)2050☎

福島消防資材株式会社
福島市五月町8-17
☎(024)52115555

令和5年度

女性消防団員等研修会

令和5年11月11日(土)、郡山市の福島県農業総合センター会議室において、令和5年度女性消防団員等研修会を開催しました。同研修会は、女性消防団員の活動の活性化と交流の促進につなげるため、毎年開催しています。今年も、県内の女性消防団員等約50名が参加しました。

研修会は、吉田秀一福島県消防協会長の挨拶に続き、総務省消防庁の消防団等充実強化アドバイザーの折茂綾子氏をお招きし、「男女共同参画社会 私たちにできること」と題して講演をいただきました。折茂氏は、群馬県藤岡市消防団の女性分団の副分団長として活躍され、後継者の育成にも携わっています。講演では、日頃の活動内容や課題、今後の展望などお話しした



いるわけではない。消防は男性だけではない。男女参画社会だ。自分の活動に誇りを持って、未来へ繋げる。これが郷土を愛する想い・情熱だと思う。」という言葉をいただき、今後の活動に大変参考になりました。

き、どんな活動を行いたいかというテーマでグループワークを行いました。最後に、折茂氏からは「消防団員の充足率を補うために女性消防団員が

次に、県消防学校の越尾吉美専門教務主任から「S-K-Y T(消防団危険予知訓練)」と「礼式の基本」と題して、実技を交えた講演をいただきました。消防団危険予知訓練は、災害現場に潜む危険を見抜く力を養い、災害防止の意識を持つための有効な訓練で、講師から説明を受



けた後、グループに分かれて指差し呼称やミーティングなどの実技を行いました。その後、礼式の基本として、団員が基本的な動きを習得することは有意義なことから、敬礼動作、基本の姿勢や休めなどの基本の動作などを教えていただきました。

第30回全国消防操法大会 出場順決定

第30回全国消防操法大会が令和6年10月12日(土)に宮城県利府町にある宮城県総合運動公園グラウンド・21において開催されます。今回、本県代表は小型ポンプの部に出場することとなっています。

出場順を決める抽選会は、2月28日に日本消防協会で行われ、本県は7番に決定しました。

なお、本県代表の消防団は、8月25日(日)に行われる第45回福島県消防操法大会の優勝チームとなります。

「Fire エール 五・七・五」入賞作品決定

仕事を持ちながら自分たちの地域を守るため、日夜活動している福島県内の消防団員にエールを贈るとともに、消防団員の活動を広く福島県の人々にお知らせするために、ユーモアあふれる「Fire エール 五・七・五」を募集したところ、160名の方から366作品が寄せられました。本当に多くの作品をお寄せいただきありがとうございました。

入賞作品の選考会を開催し、次のとおり入賞作品が決まりました。



火を防ぐ
父の背中に
憧れて
田村市 ミッチー 様



地元愛
仲間とともに
消防団
郡山市 たもじろう 様

カッコいい
俺のどうちゃん
消防団
桑折町 ゴーレッド 様

纏いの字
背中で語る
護り人
郡山市 ヨシヨシヨシ 様



火事予防
家族同志の
合言葉
いわき市 K・Y 様

防災は
一人ひとりの
備えから
田村市 あやたか 様

確認は
備えて防ぐ
第一歩
福島市 モンシロチョウ 様

令和5年 秋の叙勲(消防関係)

全国の受章者は、598名(瑞宝小
綬章33名、旭日双光章6名、瑞宝双光
章51名、瑞宝単光章508名)となっ
ています。(発令5・11・3)

福島県関係では、次の方々を受章さ
れました。

- 瑞宝双光章(1名)
元中島村消防団 団長 小室 正光
- 瑞宝単光章(14名)
元猪苗代町消防団 団長 五十嵐幸夫
元南会津町消防団 分団長 大山 道明
元いわき市消防団 分団長 小川 邦夫
元福島市消防団 副団長 片野 博
元喜多方市消防団 副団長 齋藤 誠
元桑折町消防団 分団長 齋野 英利
元いわき市消防団 副団長 佐藤 正雄
元富岡町消防団 分団長 三瓶 修
元田村市消防団 副団長 白岩 幸広
元福島市消防団 副団長 丹野 博
元二本松市消防団 副団長 生田目 和信
元下郷町消防団 部長 芳賀 正司
元南相馬市消防団 副団長 伏見 順栄
元郡山市消防団 副団長 宗形 義久

令和5年 秋の褒賞(消防関係)

全国の受章者は、99名(紅綬褒章3
名、黄綬褒章7名、藍綬褒章89名)と
なっています。(発令5・11・3)

藍綬褒章(3名)

- 現南会津町消防団 副団長 赤井 美洋
●現会津若松市消防団 分団長 高橋 祐輔
●現相馬市消防団 副分団長 森 範雄

第41回 危険業務従事者叙勲(消防関係)

全国の受章者は、646名(瑞宝双
光章304名、瑞宝単光章342名)
となっています。(発令5・11・3)

瑞宝双光章(9名)

- 元郡山地方広域消防組合 消防 監 天野 章弘
- 元白河地方広域市町村圏整備組合 消防 監 大越 貞行
- 元相馬地方広域市町村圏組合 消防司令長 菅野 富茂
- 元郡山地方広域消防組合 消防 監 鈴木 芳男

消防個人年金
消防団員・消防職員だからこそ
加入できる
将来の自分のための積立年金制度です
最長で70歳まで積み立てることができます
お問い合わせ
(公財)日本消防協会 年金共済部
TEL 0120-658-494 E-mail: nenkin@nissho.or.jp

- 元喜多方地方広域市町村圏組合 消防 監 高久 寛行
- 元いわき市 消防司令長 根本 光洋
- 元会津若松地方広域市町村圏整備組合 消防司令長 長谷川 恵一
- 元福島市 消防 監 横山 忠昭
- 元双葉地方広域市町村圏組合 消防司令長 渡邊 敏行
- 瑞宝単光章(3名)
元相馬地方広域市町村圏組合 消防司令長 齋藤 光夫
元白河地方広域市町村圏整備組合 消防司令長 関根 洋己
元いわき市 消防司令 渡邊 勇一

(機器協会員)
〈総合防災〉
消火器・シバウラ消防ポンプ・
消防ホース・各種消防防災用品・
火報設備・避難設備・消防設備
保守点検設備
会星産業株式会社
白河市古高山3-138
☎0248(22)5504

(機器協会員)
各種消防ポンプ自動車メーカー
日本機械工業株式会社
仙台営業所
仙台市青葉区一番町1丁目10番36号
TEL 022-222-8831
FAX 022-223-6660
— 福島県下代理店 —
東部産業(株)自動車部 いわき市(26)5401
和田自動車(株) 郡山市(943)3400

(機器協会員)
会津消防用品株式会社
消防ポンプ自動車・小型動力ポンプ・
消防ホース・消火器・防火衣・
火災報知設備・積載車積装
消防設備保守点検
会津若松市松町2-41
☎会津若松(28)5151

(機器協会員)
福島県知事許可
総合防災設備設計・施工・
保守点検・消防資材一式・
他弱電工事
明和電気防災(株)
福島市上島渡沢22-3
☎(024)593-2131

(機器協会員)
福島日野自動車株式会社
本社 郡山市安積町笹川字緑田5番地1
☎024-945-1665
郡山支店 須賀川市茶畑町25番3
☎0248-63-7070
福島支店 福島市荒井北2丁目1-1
☎024-593-0333
いわき支店 いわき市小浜島字渡地6番地1
☎0246-58-8181
会津営業所 会津若松市神前町大字北四合字横沼110-1
☎0242-37-2233
相双営業所 相馬市柚木字大岡72番地5
☎0244-36-0385
白河支店 西白河郡泉崎村大字泉崎字中核工業団地311-1
☎0248-54-1035

(機器協会員)
総合消防設備
消防備品、消防設備点検、防火対象物点検
援護化学株式会社
代表取締役 滝田 吉宏
本社 郡山市図景1丁目17-24
(024)932-0440(代)
営業所 会津若松市建福寺前1-25
(0242)27-1056

(機器協会員)
ISUZU
いすゞ自動車東北株式会社
福島支社 福島市岡島字長岬6-7
☎024(572)3663(代)
福島支店 ☎024(572)6414(代)
郡山支店 ☎0248(72)2020(代)
いわき支店 ☎0246(58)4081(代)
会津支店 ☎0242(24)3455(代)
相双営業所 ☎0244(24)3255(代)
本宮営業所 ☎0243(63)2660(代)
白河営業所 ☎0248(22)7125(代)

(機器協会員)
福島トヨタ
自動車株式会社
福島市太平寺字沖高25
☎(024)54612000

福島県消防団応援プロジェクト「ふくしま消防団サポート企業」を募集中

福島県では地域の安全・安心な生活を支える消防団活動に対してサポートしていただける企業等を募集しています。

詳しくは福島県危機管理部消防保安課までお問い合わせください。

TEL: 024-521-7190

FAX: 024-521-9829

Mail: syoubou@

pref.fukushima.lg.jp



福島県消防協会の令和6年度事業計画・予算が決定

福島県消防協会の令和5年度第4回理事会が令和6年2月15日(木)に杉妻会館で開催され、令和6年度事業計画・予算などが決定されました。

令和6年度事業計画・予算の概要は、次表のとおりです。

なお、令和6年度の事業計画・予算は、公式ホームページに掲載します。

令和6年度事業計画(主要行事)

Table with 3 columns: Date, Event Name, and Venue. Includes events like '令和6年度福島県消防殉職者等慰霊祭' and '第77回福島県消防大会'.

令和6年度予算概要

Table showing budget details: Income (総額 38,842,800円) and Expenses (総額 46,829,600円) with sub-categories like '公益目的事業会計' and '収益事業会計'.

Advertisement for '消防人の火災共済' (Firefighters' Fire Mutual Insurance) with a 300x to 750x bonus rate.

Advertisement for 'B型火災共済' (Type B Fire Mutual Insurance) with a 1500x bonus rate and details on membership.

Advertisement for '磐水社' (Isumi Co.) as a fire equipment supplier, listing various products and contact info.

Advertisement for 'MORITA GROUP' featuring fire trucks and extinguishers, with contact information for their branches.

Advertisement for '美光' (Mitsukane) fire equipment, including fire extinguishers and other safety gear.

Advertisement for '郡山防災センター' (Moriyama Disaster Prevention Center) and 'モリタ式消防ポンプ自動車' (Morita-style fire pumps).